

ビニル床シート 注意事項

選択上のご注意

防滑性マークは、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや砂の持込み、使用したワックスの種類など環境によって大きく左右されます。選択の際の一つの目安としてご利用下さい。詳細は本カタログ500頁をご参照下さい。

機能別インデックスを参考に、建物の用途・環境に応じた製品を選択して下さい。

病院など抗菌性を求められる場所では、抗菌シートをご採用下さい。人体への影響が少ない抗菌剤を使用しておりますが、乳幼児が誤って経口する可能性のある場所では使用を避けて下さい。

- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材の変色が発生する場合があります。これらの条件が揃わないように注意して下さい。そのような箇所へ床材を施工する際には、発生しても目立たない暗色系のご採用をおすすめします。
- NWシリーズ及び防滑性床材は、製品の特性上、素足や靴下での歩行時に素材表面がひっかかる事があります。上靴、スリッパ履きで使用する事をおすすめします。
- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マーク以上の使用は避けて下さい。詳細は本カタログ495頁をご参照下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残ります。ご留意下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上がり状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- 床シートは熱には弱い性質を有しています。摩擦熱等により、床面に変色、変形が生じる事があります。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などで確認下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。
- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げして下さい。
- 既設床への重ね貼りは、膨れ、伸び、突上げなどを招く可能性があります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料、防蟻剤、防腐剤、アスファルト系接着剤（黒糊）、油性マジック、オイルステン、塩ビ配管用接着剤、朱墨等の汚れが残っていると、接着不良や床材を着色させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 床シートは室温になじませてから施工して下さい。室温と床シートに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。

屋外対応ビニル床シート (NSシート NS800・東リNSステップ800・NSリアルデザインNW) 施工上のご注意

- 下地に断熱材があると、太陽光から受ける熱が下地に拡散されず蓄積され、床材に過度な熱が加わり床材が劣化するおそれがあります。

■ 施工中

- シート裁断後、切り口が鋭利になる場合がありますのでご注意下さい。
- 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、5mmピッチのくし目ゴテで均一に塗布して下さい。
- キャスター往來の多い部位では、接着剤の櫛山が残ると床シート表面に櫛目状の傷つきや汚れが生じる場合がありますので、適切なタイミングで床シートを貼り、施工後はローラーで十分に圧着して下さい。
- CFシートを施工の際、テープ工法での施工は貼直しがききませんので、ご注意下さい。
- アンダーレイシートを使用する際は、上下面とも同じ接着剤をご使用下さい。
- 必ず継目処理を施して下さい。
- 幅継ぎをする際は、耳部どうしでジョイントして下さい。
- 目地部は落し込みを使用してカットして下さい。もしくは東リリノカットで施工して下さい。
- 巻上げ施工の端部、壁際等、シート端部は指定のシール剤等で仕上げして下さい。
- 施工時には、カッターの刃をこまめに取替えて下さい。

下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、膨れなどを招く可能性があります。いずれも、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因になります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気を心がけ、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行って下さい。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。

施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

■ 施工後

- 施工後は、エア抜きの後、ローラーで全面を圧着して下さい。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床シートの反り、膨れ、突上げ、剥がれ、目地スキなどが生じる場合があります。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼付けないで下さい。床シートを汚染する原因となります。
- 施工後、一週間は、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれ・へこみ跡などを発生させる可能性があります。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとって下さい。

施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。包装紙・紙管などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。床シートを燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。
- メンテナンスは必ず指定のワックスまたは同等品により定期的に行って下さい。特に初期メンテナンスでは、シートの表面をアルカリ洗浄剤で十分に洗浄し、よくすすいだ後ワックスを塗布して下さい。ワックスは床シートの汚れを防ぎ、美観を保持します。詳細は本カタログ513頁をご参照下さい。
- 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に各製品に応じたワックスを塗布して下さい(※1)。特に初期メンテナンスでは、シート表面を十分に洗浄した後ワックスを塗布して下さい。状況に応じて、固く絞ったモップでの水拭きによる1日の清掃回数を増やすなど、日常のメンテナンスにご留意下さい。(※1)各製品のワックスメンテナンスの詳細につきましては、531頁のワックスメンテナンス早見表もしくはサンプル帳をご参照下さい。

次ページへ続く

ビニル床シート 注意事項

- 表面に凹凸がある防滑性シートは、凹部にワックスが溜まらないように、均一に薄く塗布して下さい。厚塗りすると防滑性が落ちますのでご注意下さい。屋外使用の場合は、樹脂ワックスは塗布できません。

※「NWシリーズ」はメンテナンス方法が異なります。
下記「NWシリーズ」メンテナンス情報をご参照下さい。

水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれないようにして下さい。持込まれた際には、即座に除去するようにして下さい。摩擦・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

NWシリーズ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。
- 面積の大きな施設では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨いたします。
- ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。ただし、各機能性を重視する場合は、ワックスを塗布しないで下さい。

※抗菌性能のある製品に、ワックスメンテナンスを行う場合

施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

- 屋外から直接土砂の持込みが想定される部位にお使いの際は、除塵マットの設置やワックスを塗布する定期メンテナンスが必要になる場合があります。

バスナアルティ・バスナフローレ・バスナリアルデザイン メンテナンスのご注意

- 浴室でご使用の場合は、メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。スポンジ、デッキブラシ（ソフトタイプ）等で毎日汚れを取除いて下さい。
- 脱衣室などでご使用の場合は、施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

■ 使用上のご注意

- 長時間の直射日光による変退色、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや換気を心がけて下さい。
- ルーフバルコニー等の下地で多く採用される「防水層+押えコンクリート」は構造上、常に多量の水分を含むおそれがあります。シートの膨れや剥がれの原因となるため、施工はおすすめできません。
- 半屋外、屋内対応の製品は、長時間直射日光の暴露を受ける場所での使用は避けて下さい。
- 熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹出口にはマットを設置するなどして、温風が直接シート表面に当たる事を避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。
- ビニル床材の上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。

- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、床材の表面にキズや膨れ、へこみ跡が生じる可能性があります。
- 建物の出入口には、必ず除塵マットを設置して下さい。（砂、砂利等で表面に傷がついてしまった場合、汚れが傷に入り込んでしまい、汚れ落ちが悪くなります。土砂の持込みの可能性がある路面に面した部位で使用される場合は、除塵性の高いマットをできるだけ広い面積で設置して下さい。）
- 長時間、水に濡れた状態が続くと白化する場合があります。
- 水拭き後長時間濡れた状態にしておくと、菌の増殖や臭いの原因になります。乾いたモップで拭取り、乾燥した状態でお使い下さい。

水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品・火山灰などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご注意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

- 光源により見え方が変わる事があります。ご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

バスナアルティ・バスナフローレ・バスナリアルデザイン 使用上のご注意

- 施工前に必ず勾配を確認して下さい。
- 施工前に石鹸カスなどを充分除去しておいて下さい。
- 毛染め液、ある種のタオルなどに使われる染料で着色する場合があります。ご使用を控えるか、付着後すぐに洗い流して下さい。
- 施工終了後、一晚養生したのち入浴していただく事は可能です。2～3日間はシール部へのブラシ清掃はお避け下さい。また、大型浴室等でのキャスターの往来は2～3日お控え下さい。

運搬ならびに保管上のご注意

- 荷下ろし時の落下による、耳部の損傷にご注意下さい。
- 重量物ですので、慎重に扱って下さい。また、器物等との接触にも配慮して下さい。
- 水漏れのない平坦な場所に保管して下さい。
- 縦置きの場合は、ロープ等で固定し、転倒防止を図って下さい。
- 横置き保管の場合は、俵積み避けて下さい。